

特別企画：神奈川県下メインバンク調査（2017年）

横浜銀行が20.6%でトップ、6年連続でシェアを拡大 ～メガ離れ進み、横浜信金が三井住友銀を逆転～

はじめに

2017年も引き続き、地方銀行の大型再編が相次いで発表された1年だった。2月には三重県を経営地盤とする第三銀行と三重銀行が経営統合を発表。3月には近畿で関西アーバン銀行・近畿大阪銀行・みなと銀行の3行が、4月には北陸で第四銀行と北越銀行の2行がそれぞれ経営統合することを発表した。

北海道拓殖銀行の経営破たん以降、金融機関同士の経営統合・再編は大手銀行が中心になって行われてきた。しかし、近年は日本銀行のマイナス金利政策による貸出金利低下や人口減少のほか、フィンテック等の技術革新を通じた異業種の金融分野進出による新たな金融競争の発生などにより、地域金融機関でも業界再編の必要性に迫られている。こうしたなかで急速に進展する地域金融機関同士の経営統合では、特に地域の中小企業に対する金融サービスへの影響も懸念され、企業と金融機関との関係性に変化が生じる可能性もある。

帝国データバンク横浜支店は、2017年10月末時点の企業概要データベース「COSMOS2」（約147万社収録、特殊法人・個人事業主含む）のうち、神奈川県内企業（7万1379社）がメインバンクと認識している金融機関について抽出し、集計した。なお、同調査は2016年12月に続き8回目。

■本調査は帝国データバンクが独自に調査・保有している企業概要データベース「COSMOS2」に収録された企業データであるため、各金融機関がメインとして認識する実数とは異なる。また、一企業に複数のメインがあるケースでは、企業が最上位として認識している金融機関をメインバンクとして集計した。

調査結果（要旨）

1. 神奈川県下のメインバンク第1位（企業数）は8年連続で「横浜銀行」。6年連続でシェアを拡大し、同行をメインバンクとする企業が全体の20.6%を占めた。次いで、それぞれシェアを縮小しながらも第2位に「三菱東京UFJ銀行」、第3位に「みずほ銀行」のメガバンク2行が入り、前回とトップ3の順位には変動がなかった。一方、調査開始以来、7年連続で第5位だった「横浜信用金庫」がシェアを拡大し「三井住友銀行」を逆転し、第4位に浮上した。
2. 県内企業の売上規模を6つに分類し、メインバンクを調べたところ、5分類でトップは「横浜銀行」だった。売上高「50億円以上」では「みずほ銀行」が24.4%のシェアを占めトップとなったが、第2位の「横浜銀行」との差は縮小した。
3. 業種別トップは7業種（建設、製造、卸売、小売、不動産、運輸・通信、サービス）全てで「横浜銀行」が占め、かつ、全業種でシェアを伸ばした。建設業は「横浜銀行」、「横浜信用金庫」、「川崎信用金庫」の県内3行が上位を独占した。
4. 業態別は、第2地銀では「八千代銀行」、信用組合では「相愛信用組合」が高いシェアを保つ。

1. 県内ランキング 横浜銀行のシェアは20.6% 横浜信金がトップ3に迫る

上位ランキング20行をみてみると、神奈川県内のメインバンクのシェアランキング第1位は地銀トップの地元「横浜銀行」。1万4701社の取引企業がメインバンクとして認識している。昨年12月の前回調査と比べて128社増加し、メインバンクシェアは0.2ポイントアップの20.6%と、6年連続でシェアを拡大している。なお、全国企業の中では1万6094社（シェア1.10%）で、同行をメインバンクと認識している取引企業の91.3%は神奈川県内の企業ということになる。また、全金融機関でのシェアランキング（以下、全国ランキング）では昨年調査と同ランクの11位だった。第2位は「三菱東京UFJ銀行」の6441社で昨年に比べ20社の減少。シェアは9.0%で、前年比0.1ポイントのダウン。全国ランキングでは第1位だった。第3位は「みずほ銀行」の6064社で同55社の減少となり、シェアは8.5%と前年比0.1ポイントのダウン。全国ランキングでも第3位だった。県内ランキングのトップ3はここ4年間変動していない。

続く第4位は「横浜信用金庫」の6036社。昨年から142社増加し、シェアは同0.2ポイント増の8.5%となった。シェアを0.1ポイント縮小し、第5位に転落した「三井住友銀行」を逆転し、調査開始以来7年連続だった第5位から1ランクアップした。さらに、第3位の「みずほ銀行」との差も僅差となっており、次回調査での県内トップ3入りが視野に入ってきた。

第6位には「川崎信用金庫」が昨年から73社増え、5144社（シェア7.2%）で続いている。残る県内6信金と第2地銀は、第9位に「かながわ信用金庫」2348社、第10位に「湘南信用金庫」2289社、第12位に「さがみ信用金庫」1688社、第13位に「平塚信用金庫」が1425社で続く。

第14位には地元第2地銀の「神奈川銀行」が入り1237社、第18位に「中南信用金庫」の547社、第19位は「中栄信用金庫」の514社だった。横浜銀行とともに、コンコルディア・フィナンシャルグループ傘下の「東日本銀行」は第20位でシェアは0.6%。県内420社（昨年433社）がメインバンクと認識している。

上位20行の中で昨年前回調査と比べて50社以上の増加となったのは「横浜信用金庫」（142社増）、「横浜銀行」（128社増）、「川崎信用金庫」（73社増）だった。一方、50社以上の減少は「みずほ銀行」（55社減）のみだった。

【県内ランキング上位20行】

順位	取引銀行名	本店所在地	2017年		シェア増減	2016年	
			社数	シェア		社数	シェア
1 (1)	横浜	横浜市	14,701	20.6%	0.2	14,573	20.4%
2 (2)	三菱東京UFJ	東京都	6,441	9.0%	▲ 0.1	6,461	9.1%
3 (3)	みずほ	東京都	6,064	8.5%	▲ 0.1	6,119	8.6%
4 (5)	横浜信金	横浜市	6,036	8.5%	0.2	5,894	8.3%
5 (4)	三井住友	東京都	5,955	8.3%	▲ 0.1	6,000	8.4%
6 (6)	川崎信金	川崎市	5,144	7.2%	0.1	5,071	7.1%
7 (7)	八千代	東京都	2,801	3.9%	0.0	2,793	3.9%
8 (8)	りそな	大阪府	2,436	3.4%	▲ 0.1	2,466	3.5%
9 (9)	かながわ信金	横須賀市	2,348	3.3%	0.0	2,333	3.3%
10 (10)	湘南信金	横須賀市	2,289	3.2%	0.0	2,285	3.2%
11 (11)	城南信金	東京都	1,932	2.7%	0.0	1,942	2.7%
12 (12)	さがみ信金	小田原市	1,688	2.4%	0.0	1,676	2.4%
13 (13)	平塚信金	平塚市	1,425	2.0%	0.0	1,403	2.0%
14 (15)	神奈川	横浜市	1,237	1.7%	0.0	1,248	1.7%
15 (14)	スルガ	静岡県	1,225	1.7%	▲ 0.1	1,251	1.8%
16 (16)	静岡中央	静岡県	686	1.0%	0.0	688	1.0%
17 (17)	静岡	静岡県	668	0.9%	▲ 0.1	678	1.0%
18 (18)	中南信金	中郡	547	0.8%	0.0	560	0.8%
19 (19)	中栄信金	秦野市	514	0.7%	0.0	504	0.7%
20 (20)	東日本	東京都	420	0.6%	0.0	433	0.6%
:	:	:	:	:	:	:	:
合 計			71,379			71,315	

※()内は前年順位

2. 企業の売上規模別 6分類中、5分類で横浜銀行がトップシェア

企業の売上規模別にメインバンクをみると、「横浜銀行」のシェアが各分類で2割を超え、5分類でトップとなっている。第2位は「三菱東京UFJ銀行」が3分類、「横浜信用金庫」が2分類に入っている。「売上高50億円以上」の分類では、シェアを落としながらも「みずほ銀行」が5年連続でトップに立ったが、その一方で「横浜銀行」がシェア大きく伸ばし、その差は縮小した。

昨年との比較で順位が2ランク以上変動したのは、「売上高5000万円未満」での「三井住友銀行」（第4位→第6位）と、「売上高50億円以上」での「商工中金」（第8位→第6位）および「川崎信用金庫」（第6位→第8位）のみだった。

総じて各分類とも神奈川県内の地銀、信金がメガバンクとともにメインバンクの地位を確保しているが、メガバンクを除く県外金融機関の中では「八千代銀行」（東京）が5分類で上位10行に入っているのが目立つ。

【県内売上規模別上位10行】

5000万円未満

順位	取引銀行名	2017年		シェア 増減	2016年	
		社数	シェア		社数	シェア
1 (1)	横浜	5,246	21.3%	▲0.1	5,337	21.4%
2 (2)	三菱東京UFJ	2,197	8.9%	0.0	2,237	8.9%
3 (3)	みずほ	2,040	8.3%	▲0.1	2,095	8.4%
4 (5)	川崎信金	1,950	7.9%	0.0	1,963	7.9%
5 (6)	横浜信金	1,935	7.9%	0.1	1,944	7.8%
6 (4)	三井住友	1,919	7.8%	▲0.2	1,989	8.0%
7 (7)	八千代	1,110	4.5%	0.0	1,114	4.5%
8 (8)	湘南信金	943	3.8%	0.0	940	3.8%
9 (9)	かながわ信金	910	3.7%	0.0	920	3.7%
10 (10)	りそな	831	3.4%	0.0	843	3.4%
合計		24,621			24,997	

5000万円以上1億円未満

順位	取引銀行名	2017年		シェア 増減	2016年	
		社数	シェア		社数	シェア
1 (1)	横浜	2,566	20.5%	0.5	2,500	20.0%
2 (2)	横浜信金	1,235	9.9%	0.1	1,227	9.8%
3 (3)	川崎信金	1,077	8.6%	0.1	1,067	8.5%
4 (4)	三菱東京UFJ	1,030	8.2%	▲0.1	1,041	8.3%
5 (5)	みずほ	984	7.9%	0.0	991	7.9%
6 (6)	三井住友	972	7.8%	0.3	932	7.5%
7 (7)	八千代	559	4.5%	▲0.2	585	4.7%
8 (9)	湘南信金	475	3.8%	0.0	470	3.8%
9 (8)	かながわ信金	453	3.6%	▲0.2	475	3.8%
10 (10)	りそな	439	3.5%	▲0.1	452	3.6%
合計		12,520			12,510	

1億円以上5億円未満

順位	取引銀行名	2017年		シェア 増減	2016年	
		社数	シェア		社数	シェア
1 (1)	横浜	4,244	20.0%	0.1	4,215	19.9%
2 (2)	横浜信金	2,199	10.3%	0.2	2,141	10.1%
3 (3)	三井住友	1,880	8.8%	▲0.3	1,924	9.1%
4 (4)	三菱東京UFJ	1,856	8.7%	▲0.1	1,856	8.8%
5 (5)	みずほ	1,745	8.2%	▲0.1	1,751	8.3%
6 (6)	川崎信金	1,692	8.0%	0.1	1,673	7.9%
7 (7)	八千代	906	4.3%	0.0	902	4.3%
8 (8)	かながわ信金	795	3.7%	0.1	770	3.6%
9 (9)	りそな	752	3.5%	▲0.1	762	3.6%
10 (10)	城南信金	723	3.4%	0.0	719	3.4%
合計		21,256			21,206	

5億円以上10億円未満

順位	取引銀行名	2017年		シェア 増減	2016年	
		社数	シェア		社数	シェア
1 (1)	横浜	1,070	24.7%	▲0.3	1,067	25.0%
2 (2)	三菱東京UFJ	457	10.5%	▲0.2	458	10.7%
2 (3)	三井住友	457	10.5%	▲0.1	453	10.6%
4 (5)	横浜信金	423	9.8%	0.8	385	9.0%
5 (4)	みずほ	388	9.0%	▲0.4	401	9.4%
6 (6)	川崎信金	250	5.8%	0.0	248	5.8%
7 (7)	りそな	178	4.1%	▲0.1	179	4.2%
8 (8)	八千代	135	3.1%	0.3	120	2.8%
9 (10)	かながわ信金	116	2.7%	0.2	106	2.5%
10 (9)	湘南信金	108	2.5%	0.0	108	2.5%
合計		4,335			4,271	

10億円以上50億円未満

順位	取引銀行名	2017年		シェア 増減	2016年	
		社数	シェア		社数	シェア
1 (1)	横浜	1,153	28.6%	▲0.1	1,159	28.7%
2 (2)	三菱東京UFJ	581	14.4%	▲0.4	598	14.8%
3 (3)	みずほ	553	13.7%	▲0.2	560	13.9%
4 (4)	三井住友	478	11.9%	0.0	481	11.9%
5 (6)	横浜信金	192	4.8%	0.3	183	4.5%
6 (5)	りそな	184	4.6%	▲0.1	189	4.7%
7 (7)	川崎信金	119	3.0%	0.4	104	2.6%
8 (8)	湘南信金	99	2.5%	0.1	95	2.4%
9 (9)	商工中金	84	2.1%	▲0.1	87	2.2%
10 (10)	八千代	71	1.8%	0.1	67	1.7%
合計		4,029			4,033	

50億円以上

順位	取引銀行名	2017年		シェア 増減	2016年	
		社数	シェア		社数	シェア
1 (1)	みずほ	319	24.4%	▲0.6	321	25.0%
2 (2)	横浜	304	23.3%	1.3	295	22.0%
3 (3)	三菱東京UFJ	278	21.3%	1.1	271	20.2%
4 (4)	三井住友	222	17.0%	0.5	221	16.5%
5 (5)	りそな	42	3.2%	0.1	41	3.1%
6 (7)	横浜信金	15	1.1%	0.1	14	1.0%
6 (8)	商工中金	15	1.1%	0.1	13	1.0%
8 (6)	川崎信金	14	1.1%	▲0.1	16	1.2%
9 (9)	湘南信金	12	0.9%	0.1	11	0.8%
10 (10)	静岡	6	0.5%	0.0	7	0.5%
合計		1,307			1,283	

※()内は前年順位

3. 業種別ランキング 全業種でトップは横浜銀行。建設は県内3行が上位独占

メインバンクを業種別で見ると、全7業種すべてで「横浜銀行」が第1位を占めた。第2位には製造、卸売、サービスの3業種で「三菱東京UFJ銀行」、小売、不動産、運輸・通信の3業種で「三井住友銀行」、建設では地元「横浜信用金庫」が入った。第3位は卸売とサービスの2業種は「みずほ銀行」、小売、不動産の2業種は「三菱東京UFJ銀行」のメガ2行だったが、製造では「横浜信用金庫」がランクインしたほか、建設でも「川崎信用金庫」がランクインし、上位3行を県内金融機関が占めた。

【県内業種別上位10行】

建設

順位	取引銀行名	2017年		シェア 増減	2016年	
		社数	シェア		社数	シェア
1 (1)	横浜	4,934	20.6%	0.0	4,829	20.6%
2 (2)	横浜信用金庫	2,649	11.1%	0.3	2,528	10.8%
3 (3)	川崎信金	2,472	10.3%	0.2	2,360	10.1%
4 (4)	みずほ	1,656	6.9%	0.0	1,625	6.9%
5 (5)	三井住友	1,587	6.6%	▲0.1	1,568	6.7%
6 (6)	三菱東京UFJ	1,431	6.0%	0.0	1,404	6.0%
7 (7)	八千代	1,230	5.1%	0.0	1,201	5.1%
8 (8)	かながわ信金	966	4.0%	▲0.1	961	4.1%
9 (9)	湘南信金	934	3.9%	0.0	915	3.9%
10 (10)	城南信金	801	3.3%	▲0.1	792	3.4%
：	：	：	：	：	：	：
合計		23,933			23,427	

製造

順位	取引銀行名	2017年		シェア 増減	2016年	
		社数	シェア		社数	シェア
1 (1)	横浜	1,305	17.8%	0.2	1,312	17.6%
2 (2)	三菱東京UFJ	793	10.8%	0.0	806	10.8%
3 (3)	横浜信用金庫	736	10.0%	0.2	730	9.8%
4 (4)	みずほ	665	9.1%	▲0.2	692	9.3%
5 (5)	三井住友	608	8.3%	▲0.2	632	8.5%
6 (6)	川崎信金	556	7.6%	▲0.1	570	7.7%
7 (7)	八千代	384	5.2%	0.1	382	5.1%
8 (8)	城南信金	372	5.1%	0.0	380	5.1%
9 (9)	りそな	294	4.0%	0.0	299	4.0%
10 (10)	かながわ信金	170	2.3%	0.0	168	2.3%
：	：	：	：	：	：	：
合計		7,325			7,444	

卸売

順位	取引銀行名	2017年		シェア 増減	2016年	
		社数	シェア		社数	シェア
1 (1)	横浜	1,459	19.7%	0.1	1,476	19.6%
2 (2)	三菱東京UFJ	996	13.4%	▲0.1	1,017	13.5%
3 (3)	みずほ	864	11.6%	0.0	869	11.6%
4 (4)	三井住友	802	10.8%	0.0	814	10.8%
5 (5)	横浜信用金庫	634	8.5%	0.0	638	8.5%
6 (6)	川崎信金	377	5.1%	0.2	371	4.9%
7 (7)	りそな	286	3.9%	0.1	289	3.8%
8 (8)	八千代	240	3.2%	▲0.2	255	3.4%
9 (9)	城南信金	206	2.8%	0.1	205	2.7%
10 (10)	かながわ信金	199	2.7%	0.1	196	2.6%
：	：	：	：	：	：	：
合計		7,424			7,512	

小売

順位	取引銀行名	2017年		シェア 増減	2016年	
		社数	シェア		社数	シェア
1 (1)	横浜	1,540	21.9%	0.2	1,573	21.7%
2 (2)	三井住友	613	8.7%	0.1	628	8.6%
3 (3)	三菱東京UFJ	600	8.5%	0.0	615	8.5%
4 (4)	みずほ	550	7.8%	▲0.3	585	8.1%
5 (5)	横浜信用金庫	486	6.9%	▲0.1	508	7.0%
6 (6)	川崎信金	380	5.4%	▲0.2	407	5.6%
7 (7)	かながわ信金	337	4.8%	0.0	350	4.8%
8 (8)	湘南信金	325	4.6%	0.0	333	4.6%
9 (9)	八千代	264	3.8%	0.1	268	3.7%
10 (11)	りそな	263	3.7%	0.1	261	3.6%
：	：	：	：	：	：	：
合計		7,039			7,263	

不動産

順位	取引銀行名	2017年		シェア 増減	2016年	
		社数	シェア		社数	シェア
1 (1)	横浜	1,333	22.8%	0.1	1,304	22.7%
2 (2)	三井住友	591	10.1%	▲0.3	598	10.4%
3 (3)	三菱東京UFJ	569	9.7%	0.1	552	9.6%
4 (4)	みずほ	496	8.5%	▲0.1	495	8.6%
5 (5)	川崎信金	469	8.0%	0.1	454	7.9%
6 (6)	横浜信用金庫	332	5.7%	0.2	319	5.5%
7 (7)	湘南信金	325	5.6%	0.2	311	5.4%
8 (8)	りそな	241	4.1%	▲0.1	240	4.2%
9 (9)	かながわ信金	230	3.9%	▲0.1	231	4.0%
10 (10)	八千代	209	3.6%	0.0	206	3.6%
：	：	：	：	：	：	：
合計		5,849			5,754	

運輸・通信

順位	取引銀行名	2017年		シェア 増減	2016年	
		社数	シェア		社数	シェア
1 (1)	横浜	474	21.8%	0.3	470	21.5%
2 (2)	三井住友	227	10.4%	▲0.4	236	10.8%
3 (4)	横浜信用金庫	225	10.3%	0.2	221	10.1%
4 (3)	三菱東京UFJ	212	9.7%	▲0.2	216	9.9%
5 (5)	みずほ	201	9.2%	▲0.1	204	9.3%
6 (6)	川崎信金	104	4.8%	▲0.1	108	4.9%
7 (7)	八千代	82	3.8%	0.1	80	3.7%
8 (8)	りそな	76	3.5%	0.2	72	3.3%
9 (9)	かながわ信金	70	3.2%	0.1	68	3.1%
10 (10)	城南信金	62	2.9%	▲0.1	66	3.0%
：	：	：	：	：	：	：
合計		2,175			2,183	

サービス

順位	取引銀行名	2017年		シェア 増減	2016年	
		社数	シェア		社数	シェア
1 (1)	横浜	3,509	24.7%	0.3	3,464	24.4%
2 (2)	三菱東京UFJ	1,781	12.5%	▲0.2	1,795	12.7%
3 (3)	みずほ	1,577	11.1%	▲0.1	1,591	11.2%
4 (4)	三井住友	1,479	10.4%	0.0	1,480	10.4%
5 (5)	横浜信用金庫	953	6.7%	0.1	930	6.6%
6 (6)	川崎信金	766	5.4%	▲0.1	781	5.5%
7 (7)	りそな	512	3.6%	▲0.1	520	3.7%
8 (8)	湘南信金	385	2.7%	▲0.1	394	2.8%
9 (8)	八千代	384	2.7%	▲0.1	394	2.8%
10 (10)	かながわ信金	363	2.6%	0.1	349	2.5%
：	：	：	：	：	：	：
合計		14,195			14,181	

※()内は前年順位

4. 業態別分析 第2地銀は八千代銀行、信用組合は相愛信用組合がトップ

神奈川県では都市銀行をメインバンクと認識する企業数が減少傾向にある一方で、地元金融機関のプレゼンスが高まっている。業態別に見てみると、「都市銀行」の中のシェアの順位は「三菱東京UFJ銀行」、「みずほ銀行」、「三井住友銀行」の順。「地銀」では「横浜銀行」がシェア86.3%を占める。「第2地銀」は「八千代銀行」が過半数を超える53.6%のシェアを確保。「信用金庫」は「横浜信用金庫」と「川崎信用金庫」がシェアを伸ばし、両信金合計のシェアは全体の48.0%を占める。「信用組合」の中では「相愛信用組合」（愛甲郡愛川町）が突出したシェアを確保している。

【県内業態別上位10行】

都市銀行

順位	取引銀行名	2017年		シェア 増減	2016年	
		社数	シェア		社数	シェア
1 (1)	三菱東京UFJ	6,441	30.8%	0.1	6,461	30.7%
2 (2)	みずほ	6,064	29.0%	▲0.1	6,119	29.1%
3 (3)	三井住友	5,955	28.5%	0.0	6,000	28.5%
4 (4)	りそな	2,436	11.6%	▲0.1	2,466	11.7%
5 (5)	埼玉りそな	15	0.1%	0.1	10	0.0%
合計		20,911			21,056	

地方銀行

順位	取引銀行名	2017年		シェア 増減	2016年	
		社数	シェア		社数	シェア
1 (1)	横浜	14,701	86.3%	0.2	14,573	86.1%
2 (2)	スルガ	1,225	7.2%	▲0.2	1,251	7.4%
3 (3)	静岡	668	3.9%	▲0.1	678	4.0%
4 (4)	北陸	112	0.7%	0.1	110	0.6%
5 (5)	東京都民	91	0.5%	0.0	91	0.5%
6 (6)	群馬	62	0.4%	0.0	62	0.4%
7 (7)	山梨中央	26	0.2%	0.1	24	0.1%
8 (8)	第四	21	0.1%	0.0	20	0.1%
9 (9)	千葉	15	0.1%	0.0	15	0.1%
10 (10)	阿波	11	0.1%	0.0	9	0.1%
合計		17,033			16,928	

信用金庫

順位	取引銀行名	2017年		シェア 増減	2016年	
		社数	シェア		社数	シェア
1 (1)	横浜信金	6,036	25.9%	0.3	5,894	25.6%
2 (2)	川崎信金	5,144	22.1%	0.1	5,071	22.0%
3 (3)	かながわ信金	2,348	10.1%	0.0	2,333	10.1%
4 (4)	湘南信金	2,289	9.8%	▲0.1	2,285	9.9%
5 (5)	城南信金	1,932	8.3%	▲0.1	1,942	8.4%
6 (6)	さがみ信金	1,688	7.2%	▲0.1	1,676	7.3%
7 (7)	平塚信金	1,425	6.1%	0.0	1,403	6.1%
8 (8)	中栄信金	547	2.3%	▲0.1	560	2.4%
9 (9)	中栄信金	514	2.2%	0.0	504	2.2%
10 (10)	芝信金	410	1.8%	0.0	413	1.8%
合計		23,290			23,046	

信託銀行

順位	取引銀行名	2017年		シェア 増減	2016年	
		社数	シェア		社数	シェア
1 (1)	三井住友信託	38	50.0%	0.0	43	50.0%
2 (2)	三菱UFJ信託	30	39.5%	0.0	34	39.5%
3 (3)	みずほ信託	6	7.9%	0.9	6	7.0%
4 (4)	SMBC信託	1	1.3%	▲1.0	2	2.3%
4 (5)	新銀行東京	1	1.3%	0.1	1	1.2%
合計		76			86	

政府系金融機関

順位	取引銀行名	2017年		シェア 増減	2016年	
		社数	シェア		社数	シェア
1 (1)	商工中金	346	87.4%	▲2.6	342	90.0%
2 (2)	日本政策金融公庫	45	11.4%	2.5	34	8.9%
3 (3)	日本政策投資	5	1.3%	0.2	4	1.1%
合計		396			380	

新形態

順位	取引銀行名	2017年		シェア 増減	2016年	
		社数	シェア		社数	シェア
1 (1)	ジャパンネット	37	52.1%	▲2.6	35	54.7%
2 (2)	楽天	29	40.8%	6.4	22	34.4%
3 (3)	住信SBIネット	5	7.0%	▲3.9	7	10.9%
合計		71			64	

第二地方銀行

順位	取引銀行名	2017年		シェア 増減	2016年	
		社数	シェア		社数	シェア
1 (1)	八千代	2,801	53.6%	0.4	2,793	53.2%
2 (2)	神奈川	1,237	23.7%	▲0.1	1,248	23.8%
3 (3)	静岡中央	686	13.1%	0.0	688	13.1%
4 (4)	東日本	420	8.0%	▲0.3	433	8.3%
5 (5)	東京スター	29	0.6%	0.0	34	0.6%
6 (6)	大光	25	0.5%	0.0	27	0.5%
7 (7)	京葉	4	0.1%	0.0	4	0.1%
8 (8)	北洋	3	0.1%	0.0	3	0.1%
8 (9)	みなと	3	0.1%	0.1	2	0.0%
10 (9)	福島	2	0.0%	0.0	2	0.0%
10 (9)	東和	2	0.0%	0.0	2	0.0%
10 (9)	沖縄海邦	2	0.0%	0.0	2	0.0%
合計		5,221			5,246	

信用組合

順位	取引銀行名	2017年		シェア 増減	2016年	
		社数	シェア		社数	シェア
1 (1)	相愛信組	160	45.1%	▲0.6	163	45.7%
2 (2)	小田原第一信組	72	20.3%	0.1	72	20.2%
3 (3)	神奈川県医師信組	34	9.6%	0.9	31	8.7%
4 (4)	横浜幸銀信組 <small>(旧横浜中央信組)</small>	32	9.0%	0.9	29	8.1%
5 (5)	ハナ信組	23	6.5%	▲0.5	25	7.0%
6 (7)	神奈川県歯科医師信組	9	2.5%	0.0	9	2.5%
7 (6)	横浜華銀信組	8	2.3%	0.1	8	2.2%
8 (8)	大東京信組	4	1.1%	▲0.6	6	1.7%
9 (9)	共立信組	3	0.8%	0.0	3	0.8%
9 (9)	都留信組	3	0.8%	0.0	3	0.8%
合計		355			357	

その他の金融機関

順位	取引銀行名	2017年		シェア 増減	2016年	
		社数	シェア		社数	シェア
1 (1)	ゆうちょ	177	83.5%	▲2.4	177	85.9%
2 (2)	農林中金	10	4.7%	1.8	6	2.9%
3 (3)	新生	7	3.3%	0.9	5	2.4%
4 (4)	SBJ	6	2.8%	0.4	5	2.4%
5 (4)	信金中央金庫	5	2.4%	0.0	5	2.4%
6 (6)	シティバンク、イヌ・イイ <small>(旧シティバンク)</small>	3	1.4%	▲0.5	4	1.9%
7 (6)	あおぞら	2	0.9%	▲0.1	2	1.0%
7 (6)	全信組連	2	0.9%	▲0.1	2	1.0%
合計		212			206	

※()内は前年順位

まとめ>>

「横浜信用金庫」が「三井住友銀行」のシェアを逆転するなど、今回調査では2010年の調査開始から続いていた都市銀行のシェア低下と地元金融機関のシェア拡大の傾向がより鮮明となった。神奈川県に本店を置く金融機関のシェアは横浜銀行の20.6%を筆頭に合計で50.3%に達し、初めて過半数となった。

しかし、シェアを伸ばした県内金融機関も将来的な人口や預金の減少、企業の後継者不足による休廃業の増加など人口減少や高齢化による預貸率低下、マイナス金利下における収益力の低下など、経営環境は厳しさを増しており、過度な金利競争から脱却する新たなビジネスモデルへの転換が急がれる。

このような状況下、TDBが実施した調査では、金融競争の厳しい地域では企業の平均借入金利が全国平均を下回る一方、金融競争が比較的穏やかな東北各県では平均借入金利が全国平均より高い傾向もみられ、金融庁が主導する地方銀行を中心とした金融再編は、地域金融機関の将来的な生き残りに向けた経営策の一つと言えよう。

一方、公正取引委員会では地域金融機関の再編・統合について“借り手”である需要者の立場重視を打ち出すなど、企業結合審査においては再編・統合に伴う独占の利益に対して厳しい見方を示している。既に、一部の地域金融機関の経営統合が金融サービスの「地域の寡占」に当たりかねないとして公取委の審査が長期化するケースも見られる。

金融庁は、従来の信用保証・担保依存から「事業性評価」に基づく融資姿勢の転換や、企業の経営支援を重視する「金融仲介機能のベンチマーク」の利用を金融機関へ積極的に呼び掛けてきた。こうしたなか、2017年5月に同庁が実施した企業向けアンケートでは、経営上の課題をよく聞いてくれる地銀ほど、利回りの低下幅が緩やかとなる傾向が明らかとなった。今後も、「地域密着型金融（リレーションシップバンキング）」の深化が金融機関に対して一層求められるなかで、こうした取引企業のニーズに応えられない金融機関は「メインバンク」としての選択肢から外されていく可能性が高い。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 横浜支店 担当：遠峰

TEL 045-641-0380 FAX 045-641-0350

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。